

各関係機関長様

熊本県病虫害防除所長

水稻海外飛来性害虫の飛来状況（技術情報第3号）について（送付）

このことについて、水稻飛来性害虫（ウンカ類、コブノメイガ）の飛来状況を下記のとおりまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

トビロウンカの初飛来が7月2日、コブノメイガの初飛来が7月1～3日に確認されました。

今年のトビロウンカの飛来は平年より遅いものの、梅雨明け後には気温が高まるため、本種の増殖が速まる恐れがあります。ほ場での発生状況に注意してください。

1 飛来状況

- (1) 合志市に設置した予察灯で、7月2日にトビロウンカが初めて誘殺された。  
セジロウンカは5月12日に初めて誘殺を確認し、その後も断続的に誘殺された。  
コブノメイガは合志市に設置したフェロモントラップで7月1～3日に初めて誘殺された（表1）。
- (2) 6月第1半旬から7月4日（コブノメイガは7月3日）の期間において、予察灯累積誘殺数は、トビロウンカが32頭（平年15.8頭）で平年比多、セジロウンカは211頭（平年87.8頭）で平年比多、コブノメイガのフェロモントラップ累積誘殺数は5頭（平年72.5頭）で平年比少であった。

2 防除対策

- (1) トビロウンカの防除適期を、初飛来を確認した7月2日を起点に算出した（表2）。トビロウンカに対しては若齢幼虫期（1～2齢）の防除が最も効果が高いため、生育ステージを確認して防除を行う。初飛来後も連日誘殺されているため、今後の発生状況や防除適期について最新の情報は、防除所のホームページ（<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>）を確認し、適期防除に努める。
- (2) コブノメイガの防除適期を飛来状況から算出した（表3）。コブノメイガの防除適期は粒剤が発蛾最盛期、粉剤、液剤は若齢幼虫期（発蛾最盛期の1週間後）である。水田における発生状況を確認し、要防除水準（第1世代幼虫による被害株率が20%以上）を超える場合は防除を行う。

熊本県病虫害防除所  
（熊本県農業研究センター 生産環境研究所内）  
担当：守田 TEL 096-248-6490

表1

令和5年度 ネットトラップ・予察灯における水稻海外飛来性害虫の誘殺数

※ 数日間まとめて調査した場合は、調査日にデータを記入した

※ 予察灯について、4/1～5/12の期間はデータなし(故障および修繕のため)

調査日	予察灯(60W 白熱灯)		ネットトラップ		コントラップ (フェロモン)
	合志市		合志市		合志市
	セジロウンカ	トビロウンカ	セジロウンカ	トビロウンカ	コブノメイガ
5/12	-	-	1	0	-
5/13	0	0	0	0	-
5/14	0	0	0	0	-
5/15	0	0	0	0	-
5/16	0	0	0	0	-
5/17	0	0	0	0	-
5/18	0	0	0	0	-
5/19	0	0	0	0	-
5/20	0	0	0	0	-
5/21	0	0	0	0	-
5/22	0	0	0	0	-
5/23	0	0	0	0	-
5/24	0	0	0	0	-
5/25	0	0	0	0	-
5/26	0	0	0	0	-
5/27	0	0	0	0	-
5/28	0	0	0	0	-
5/29	0	0	0	0	-
5/30	0	0	0	0	-
5/31	0	0	0	0	-
月計	0	0	1	0	-
6/1	0	0	0	0	0
6/2	0	0	0	0	0
6/3	0	0	0	0	0
6/4	0	0	0	0	0
6/5	0	0	0	0	0
6/6	0	0	0	0	0
6/7	0	0	0	0	0
6/8	0	0	0	0	0
6/9	1	0	0	0	0
6/10	1	0	0	0	0
6/11	1	0	0	0	0
6/12	0	0	0	0	0
6/13	0	0	0	0	0
6/14	0	0	0	0	0
6/15	1	0	0	0	0
6/16	0	0	0	0	0
6/17	0	0	0	0	0
6/18	0	0	0	0	0
6/19	0	0	0	0	0
6/20	0	0	1	0	0
6/21	1	0	0	0	0
6/22	0	0	0	0	0
6/23	5	0	1	0	0
6/24	0	0	0	0	0
6/25	1	0	0	0	0
6/26	1	0	0	0	0
6/27	0	0	0	0	0
6/28	0	0	0	0	0
6/29	0	0	0	0	0
6/30	0	0	0	0	0
月計	12	0	2	0	0
7/1	2	0	0	0	5
7/2	31	5	0	0	5
7/3	61	1	0	0	5
7/4	105	26	0	0	5
7/5					

表2 予想されるトビイロウンカの防除適期(7/4現在)

★JPPネットによる有効積算温度計算シミュレーションver2を使用

★7月2日飛来の場合(熊本県農業研究センター設置の予察灯初誘殺日から推定)

地点名	熊本	三角	岱明	鹿北	菊池	阿蘇乙姫	甲佐	八代	水俣	人吉	本渡
第1世代 幼虫 (1齢~5齢)	7月20日	7月20日	7月20日	7月21日	7月20日	7月24日	7月20日	7月20日	7月20日	7月21日	7月20日
	~ 7月31日	~ 7月31日	~ 7月31日	~ 8月2日	~ 7月31日	~ 8月6日	~ 7月31日	~ 7月31日	~ 7月31日	~ 8月1日	~ 7月31日
第2世代 幼虫 (1齢~5齢)	8月17日	8月17日	8月17日	8月21日	8月17日	8月28日	8月18日	8月17日	8月18日	8月19日	8月17日
	~ 8月28日	~ 8月28日	~ 8月28日	~ 9月2日	~ 8月28日	~ 9月12日	~ 8月29日	~ 8月28日	~ 8月29日	~ 8月31日	~ 8月28日

注1)7月3日までは2023年実測の平均気温、7月4日以降は平年の平均気温をもって有効積算温度にて試算した。

注2)各地点のアメダスデータ平均気温(本年値及び平年値)をもとに、有効積算温度により発育ステージを予測した。

注3)防除を行う場合は、薬剤の効果が高い若齢幼虫期(1~2齢)を狙って防除する。

ステージ	有効積算温度(日度)	発育0点(°C)	備考
成虫	125	12	産卵までの期間
卵	135	11.4	孵化までの期間
幼虫	250	6.5	1齢~5齢幼虫の期間

(参考) トビイロウンカの発生時期別要防除水準

発生時期	要防除水準(成幼虫)
7月中旬~8月上旬	20頭/100株
8月中旬~8月下旬	100頭/100株

表3 予想されるコブノメイガの発蛾最盛期予測(7/4現在)

★JPPネットによる有効積算温度計算シミュレーションver2を使用

★7月3日飛来の場合(熊本県農業研究センター設置のトラップ初誘殺日から推定)

地点名	熊本	三角	岱明	鹿北	菊池	阿蘇乙姫	甲佐	八代	水俣	人吉	本渡
第1世代 発蛾 最盛期	8月2日	8月4日	8月2日	8月6日	8月5日	8月12日	8月4日	8月4日	8月4日	8月5日	8月4日
	~ 8月5日	~ 8月7日	~ 8月5日	~ 8月9日	~ 8月8日	~ 8月16日	~ 8月7日	~ 8月7日	~ 8月7日	~ 8月8日	~ 8月7日
第2世代 発蛾 最盛期	9月2日	9月4日	9月2日	9月10日	9月7日	10月1日	9月6日	9月4日	9月6日	9月7日	9月6日
	~ 9月5日	~ 9月7日	~ 9月5日	~ 9月14日	~ 9月10日	~ 10月12日	~ 9月9日	~ 9月7日	~ 9月9日	~ 9月10日	~ 9月9日

注1)コブノメイガトラップへの誘殺が7月1~3日の期間中に確認されたため、7月3日を起点とした。

注2)7月3日までは実数の平均気温、4日以降は平年の平均気温をもって有効積算温度にて試算した。

注3)各地点のアメダスデータ平均気温(本年値及び平年値)をもとに、有効積算温度により発育ステージを予測した。

ステージ	有効積算温度(日度)	発育0点(°C)
成虫	50	13
卵	50	13
幼虫	250	12.5
さなぎ	90	14.2

本田防除剤の散布適期

粒剤：発蛾最盛期

粉剤・液剤：若齢幼虫期

(発蛾最盛期から1週間後)